

安全・安心、誠実なものづくりの精神で 社会基盤を守り続けます

安全・安心な職場環境と信頼に足る品質の確保

大林道路は1933年の創業以来、道路舗装工事および土木工事を主体事業とし、社会基盤整備に寄与してまいりました。社会基盤に深く関わる事業を主軸としていることは即ち、事業そのものが社会課題解決に貢献し、安全・安心な暮らしを支えうることです。大林グループでは新ブランドビジョン「MAKE BEYOND つくるを拓く」を掲げ、「誠実なものづくり」を誇りとしています。当社もグループの一員として、その精神のもと、これまで培った技術と知見を生かし社会に貢献する会社として邁進しています。

そしてその基盤となるのが安全・安心な職場環境と、そこから生まれる信頼に足る品質です。全国の協力会社を含めた大林道路の工事に関わる者全員が作業ルールを遵守し、労働 災害・公衆災害・物損事故および交通事故の撲滅に取り組むことが、作業従事者自身はもとより施工現場周辺の皆様の安全にもつながり、その結果、社会からの信頼に足る品質を確保できると確信しています。

質の高い製品と技術力で持続可能な社会の形成に貢献

近年多発する激甚災害についても迅速な復旧対応は当然ながら、防災・減災に寄与する技術開発に取り組み、安全・安心な暮らしの基盤を支えることが当社に課せられた責務です。また、環境負荷軽減に向けた取り組みとして、CO₂排出抑制につながる常温・中温化アスファルト合材の開発やエネルギー燃料の転換を検討・推進しています。最近では、都市特有の課題であるヒートアイランド現象を緩和し、軽交通道路にも適用できる土系舗装「オーククレール」を共同開発しました。今後もグループ力の活用や異業種との協業

を積極的に推進し、社会から必要とされる質の高い製品・技術を通じて、持続可能な社会の形成に貢献してまいります。

従業員が能力を発揮できる職場づくりを推進

事業推進の原動力となるのは、従業員一人ひとりの力の結集です。性別、年齢、国籍、障がいを問わず、多様な人材が持てる能力を遺憾なく発揮できる職場づくりを進めています。2024年4月から建設業にも適用される改正労働基準法による時間外労働の上限規制への対応が喫緊の課題ですが、当社は前倒しで4週8休および年間超過勤務720時間未満の実現を目標に取り組み、一定の成果を得ることができました。

多様な人材の活用という面では女性活躍推進法に基づき、女性が管理職として活躍できる雇用・職場環境づくりを推進すべく、「一般事業主行動計画」を策定しました。これに則り数値目標を「2024年3月までの3年間で女性の管理監督者の人数を20%増」と定め、研修やローテーションを重ねるなど、女性従業員の成長・昇進意欲を促し、キャリア意識の醸成を図っています。

また、シニア人材の活用を図るために、技術継承を目的とした「専任期間職員」制度を新設したほか、外国人や障がい者の雇用を着実に広げるなど、多様性を尊重した職場環境の実現に取り組んでいます。

今後も社会課題の解決に真摯に取り組み、社会に貢献できる企業として成長を続けてまいります。

代表取締役社長

黒川 修治

